



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東
 コード番号 3600 URL https://www.fjx.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)松尾 勇治 (TEL)075(463)8111
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,423	7.1	△54	—	△32	—	△27	—
2022年3月期第1四半期	1,329	△21.0	△54	—	△42	—	△41	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 199百万円(156.2%) 2022年3月期第1四半期 77百万円(△26.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△20.07	—
2022年3月期第1四半期	△29.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	10,968	9,572	80.1
2022年3月期	10,775	9,445	80.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 8,787百万円 2022年3月期 8,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,836	3.4	△162	—	△136	—	△132	—	△96.14
通期	5,694	5.1	△238	—	△185	—	△187	—	△136.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	1,468,093株	2022年3月期	1,468,093株
2023年3月期1Q	91,425株	2022年3月期	91,425株
2023年3月期1Q	1,376,668株	2022年3月期1Q	1,376,668株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(収益認識関係)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染者数の減少に伴う行動制限の緩和により、消費動向の回復傾向が見られた一方で、急激な円安の進行や国際情勢に起因した資源価格の高騰、諸物価の上昇などにより、先行きの不透明な状況となりました。

日本における衣料品の消費は、行動制限の緩和と共に、まだら模様ながらも持ち直す傾向が見られたことにより、その生産の回復に比例して衣料用縫い糸の受注状況も回復傾向が見られましたが、家庭用縫い糸や車両内装用縫い糸は、引き続き受注は低調に推移し、これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、円安傾向に伴う為替換算レートの影響もあって1,423百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

一方、利益面につきましては、販管費は、コロナ禍以前と比較して引き続き低水準で推移したものの、原材料価格の上昇や当社の生産減少に伴う製造コストの上昇に加えて、販売品目構成の変化もあって、売上総利益率が前年同期を下回る結果となりました。

この結果、営業損失は54百万円（前年同期は54百万円の損失）、経常損失は32百万円（前年同期は42百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は27百万円（前年同期は41百万円の損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

日本

当社グループにおきましては、当第1四半期連結累計期間は、当社の2022年4月から6月まで、国内子会社の2022年2月から4月までの業績が連結されております。

当四半期は、急激な円安の進行や国際情勢に起因した資源価格の高騰、諸物価の上昇などによる先行きの不透明感が高まりながらも、行動制限の緩和と共に衣料品消費も分野により持ち直す傾向が見られ、その生産の回復に比例して衣料用縫い糸の受注も回復傾向となりましたが、家庭用縫い糸は、特に消費者の行動自粛傾向の強かった地域においては、引き続き店頭での販売は低調で回復が見られず、車両内装用縫い糸も半導体不足等による自動車生産台数の調整の影響を受けるなど、縫い糸の受注状況も分野により相違が見られました。

これらから当セグメントの売上高は1,113百万円（前年同期比4.2%増）と小幅な回復にとどまりました。

一方、利益面につきましては、販管費はコロナ禍以前と比較して引き続き低水準で推移したものの、当社の家庭用縫い糸の生産減少による製造コストの上昇や原材料価格などの上昇、販売品目構成の変化などによる売上総利益率の低下が響いて、セグメント損失は59百万円（前年同期は43百万円の損失）となりました。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第1四半期連結累計期間は、2022年1月から3月までの業績が連結されております。

中国におきましては、当期間は新型コロナウイルス感染者数も抑制され、当社グループの各連結子会社もほぼ平常の事業活動を行いましたが、縫い糸製造を主とする生産子会社では、日本向け衣料品用縫い糸の生産が低調に推移した上に、当四半期の終了直前には、上海地域における感染者数の急拡大に伴い、「ゼロコロナ政策」のもと、ロックダウンが実施され、対象地域内にある同生産子会社を含む中国子会社の事業活動の先行きが見通せぬ状況となりました。

一方、ベトナムやタイ国におきましては、新型コロナウイルス感染者数は、引き続き増減がありますが、経済活動回復が優先され、事業活動はほぼ平常に維持されました。

これらの状況に加えて、為替換算レートの影響も加わって当セグメントの売上高は310百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

しかしながら利益面は、特に生産子会社での生産の低調や、原材料、エネルギー価格、輸送費等の高止まりや委託加工賃の上昇が、製造コストを圧迫しつつも、同業他社との競合上、販売価格への転嫁が困難で、販売子会社の利益率が低下したことも響いて、セグメント損失は6百万円（前年同期は10百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて192百万円増加し、10,968百万円となりました。主な増減は、棚卸資産の減少57百万円があったものの、現金及び預金の増加61百万円、電子記録債権の増加68百万円、その他（流動資産）の増加32百万円、建物及び構築物の増加20百万円、投資有価証券の増加34百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて65百万円増加し、1,395百万円となりました。主な増減は、賞与引当金の減少25百万円があったものの、買掛金の増加45百万円、その他（流動負債）の増加45百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて127百万円増加し、9,572百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少96百万円があったものの、その他有価証券評価差額金の増加22百万円、為替換算調整勘定の増加160百万円、非支配株主持分の増加38百万円などがありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期連結業績につきましては、引き続き新型コロナウイルスの感染状況や事業環境の先行きも不透明で見通せないことや、中国でのゼロコロナ政策による上海市全域での都市封鎖（ロックダウン）の措置の期間中、上海市を拠点とする子会社においては、営業を停止しており売上が減少したものの、その影響額については、提出日現在では算定することが困難であります。したがって、現段階においては、2022年5月13日に公表いたしました「2022年3月期決算短信」における第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,746,675	2,808,157
受取手形及び売掛金	1,045,341	1,056,483
電子記録債権	204,312	272,373
棚卸資産	2,699,857	2,642,028
その他	61,665	93,753
貸倒引当金	△8,527	△1,917
流動資産合計	6,749,324	6,870,878
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,962,583	1,982,957
その他(純額)	688,346	693,869
有形固定資産合計	2,650,929	2,676,826
無形固定資産		
その他	202,500	211,921
無形固定資産合計	202,500	211,921
投資その他の資産		
投資有価証券	884,713	918,886
その他	296,193	297,746
貸倒引当金	△7,850	△7,850
投資その他の資産合計	1,173,055	1,208,782
固定資産合計	4,026,485	4,097,530
資産合計	10,775,810	10,968,409
負債の部		
流動負債		
買掛金	345,382	390,441
未払法人税等	9,352	6,125
賞与引当金	48,236	22,278
その他	185,375	230,787
流動負債合計	588,347	649,633
固定負債		
役員退職慰労引当金	219,806	214,076
退職給付に係る負債	50,277	51,014
資産除去債務	32,788	32,788
その他	438,782	448,017
固定負債合計	741,654	745,897
負債合計	1,330,001	1,395,530

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	771,087	771,087
利益剰余金	6,315,211	6,218,747
自己株式	△109,313	△109,313
株主資本合計	7,900,310	7,803,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	267,385	289,960
為替換算調整勘定	531,836	692,362
退職給付に係る調整累計額	△1,073	1,195
その他の包括利益累計額合計	798,149	983,518
非支配株主持分	747,348	785,514
純資産合計	9,445,808	9,572,878
負債純資産合計	10,775,810	10,968,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	1,329,255	1,423,559
売上原価	995,003	1,083,994
売上総利益	334,252	339,564
販売費及び一般管理費	388,388	393,799
営業損失(△)	△54,136	△54,234
営業外収益		
受取利息	2,272	2,151
受取配当金	13,260	15,866
賃貸料収入	6,238	5,996
その他	6,070	7,063
営業外収益合計	27,841	31,076
営業外費用		
支払利息	241	—
賃貸料収入原価	2,796	2,545
為替差損	7,980	5,533
その他	4,857	1,563
営業外費用合計	15,876	9,643
経常損失(△)	△42,170	△32,801
特別利益		
固定資産売却益	—	549
特別利益合計	—	549
特別損失		
固定資産売却損	—	137
固定資産除却損	14	—
特別損失合計	14	137
税金等調整前四半期純損失(△)	△42,185	△32,389
法人税、住民税及び事業税	5,534	5,898
法人税等調整額	△1,348	△3,894
法人税等合計	4,186	2,004
四半期純損失(△)	△46,371	△34,393
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,161	△6,762
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△41,210	△27,631

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△46,371	△34,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,960	22,574
為替換算調整勘定	173,874	208,550
退職給付に係る調整額	1,123	2,268
その他の包括利益合計	124,037	233,393
四半期包括利益	77,666	199,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,794	157,737
非支配株主に係る四半期包括利益	34,872	41,262

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書において注記した仮定と通期の見通しに与える影響額に対して、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,068,348	260,906	1,329,255	—	1,329,255
外部顧客への売上高	1,068,348	260,906	1,329,255	—	1,329,255
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43,286	114,201	157,487	△157,487	—
計	1,111,634	375,108	1,486,743	△157,487	1,329,255
セグメント損失(△)	△43,937	△10,052	△53,990	△146	△54,136

(注) 1 セグメント損失の調整額△146千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,113,477	310,082	1,423,559	—	1,423,559
外部顧客への売上高	1,113,477	310,082	1,423,559	—	1,423,559
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74,554	46,598	121,153	△121,153	—
計	1,188,031	356,680	1,544,712	△121,153	1,423,559
セグメント損失(△)	△59,025	△6,981	△66,007	11,772	△54,234

(注) 1 セグメント損失の調整額11,772千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。